

令和5年度 看護職確保定着・離職防止推進委員会 活動報告

■委員名	委員長：太田圭子 副委員長：洪愛子 委員：勝部猛彦・重見奈名代・松浦久美子・菰野朱美・勝間収子・足立記代子 椿野泰三・梅澤章・鈴木克司・大迫しのぶ・小林孝代																								
■開催回数	6回																								
■活動目標	1. 看護職の確保および就業継続支援のための取り組みについて、ナースセンター事業を踏まえ検討する。 2. ハローワークや他機関との連携を強化・推進する。 3. 看護職員の確保状況等に関する調査の実施と結果・考察から課題を整理し、必要な改善策を検討する。 4. 看護職確保・定着に関する好事例集の作成																								
■活動内容	1. ナースセンター事業の活動報告をうけ、看護職確保等に必要な取り組みについて検討する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) e ナースセンターの周知活動や登録促進のための検討を行う。 2) 広報活動などナースセンターでの取り組みを支援する。 3) 未就業看護職員の再就業促進のための活動について検討する。 2. ハローワークや地域の関係団体・関係機関との連携を強化する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) ハローワークと連携し、再就業への支援を強化する。 2) 「看護の魅力」普及啓発（将来看護職をめざす志望者の増加）の推進を検討する。 3. 看護職員の確保状況等に関する実態調査の実施と結果をもとに課題を整理し改善策を検討する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 令和4年度の看護職員の確保状況等に関する実態調査の実施 <ol style="list-style-type: none"> (1) 実施機関：令和5年7月5日～7月24日 実施方法：オンライン調査 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">施 設</th> <th style="text-align: center;">施設総数</th> <th style="text-align: center;">有効回答数</th> <th style="text-align: center;">回答率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院</td> <td style="text-align: center;">346</td> <td style="text-align: center;">302</td> <td style="text-align: center;">87.3%</td> </tr> <tr> <td>介護医療院</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">64.0%（-8.7）</td> </tr> <tr> <td>介護老人保険施設</td> <td style="text-align: center;">161</td> <td style="text-align: center;">70</td> <td style="text-align: center;">43.5%（-14.5）</td> </tr> <tr> <td>介護老人福祉施設</td> <td style="text-align: center;">427</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td style="text-align: center;">46.8%（16.4%）</td> </tr> <tr> <td>訪問看護</td> <td style="text-align: center;">815</td> <td style="text-align: center;">398</td> <td style="text-align: center;">48.9%（-19.2）</td> </tr> </tbody> </table> 2) 実態調査は【病院】【施設】【訪問看護ステーション】の調査結果の分析・考察を検討しまとめる。 3) 調査結果内容について、県医務課、労働局、ナースセンター等の担当者と共有し、看護職員の確保定着・離職防止の課題を整理し改善策を検討する。 4) 調査用紙配布時に、看護職確保・定着に関する好事例があれば記載を依頼する。 収集した意見をまとめ好事例集を作成し調査協力施設に配布する（案） 5) 次年度実態調査表の質問項目の検討 	施 設	施設総数	有効回答数	回答率	病院	346	302	87.3%	介護医療院	25	16	64.0%（-8.7）	介護老人保険施設	161	70	43.5%（-14.5）	介護老人福祉施設	427	200	46.8%（16.4%）	訪問看護	815	398	48.9%（-19.2）
施 設	施設総数	有効回答数	回答率																						
病院	346	302	87.3%																						
介護医療院	25	16	64.0%（-8.7）																						
介護老人保険施設	161	70	43.5%（-14.5）																						
介護老人福祉施設	427	200	46.8%（16.4%）																						
訪問看護	815	398	48.9%（-19.2）																						

<p>■活動の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度の兵庫県ナースセンター事業報告をうけ、意見交換した内容を活かし、下記の項目について強化された。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護職員養给力強化事業では、令和6年度の兵庫県内看護系大学・看護専門学校の入試一覧の内容を改善した冊子を進学説明会で提供する事が出来た。 2) 今年度の新規事業として看護補助者キャンペーンウイーク事業や地域偏在対策として、はりま姫路地区のモデル事業としての検討を実施している。 2. ハローワーク姫路にて、病院の看護部長が出向き就職相談会に参加した。今後も機会があれば、病院とハローワークとのタイアップによる効果を見ていく必要がある。 3. 今期の看護職員の確保状況等に関する実態調査は、昨年から引き続き、「病院」「訪問看護」「介護・福祉施設等」に分け実施した。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 昨年度はワーキングで調査結果をまとめたが、今期は昨年のまとめ方を土台にデータ集計を業者依頼し、当委員会内で意見交換をしながら考察と今後の課題を整理した。看護職員の確保や定着に関して効果があった自由記載内容を掲載しているため、各施設の管理者が報告書を読んで複合的に参考・活用にしていただけることを期待する。 4. 好事例集の作成までは至らなかったが、考察として整理する過程では、看護職確保・定着に効果的であった内容を参考にすることを意識し活用を行った。
<p>■今後の課題</p>	<p>看護職員の実態調査は、オンラインシステムでの回答を依頼して2年目となる。「病院」の回答率は87.3%（昨年度比ほぼ同率）であるが、「訪問看護」は48.8%「介護・福祉施設等」は47%と昨年度より減少している。結果・考察の精度を上げるためにも回答率を上げることが課題である。</p>